

長い目で見て大きな決断： エコな車の選び方

★軽い車を選ぶ

図1は、実際の使用における車両重量と単位距離当たりのCO₂排出量の関係を示したものです。CO₂排出量は、車両の重さとの関係が深いことがわかります。すなわち、CO₂を削減するためには、軽い車両を選ぶことが効果的です。

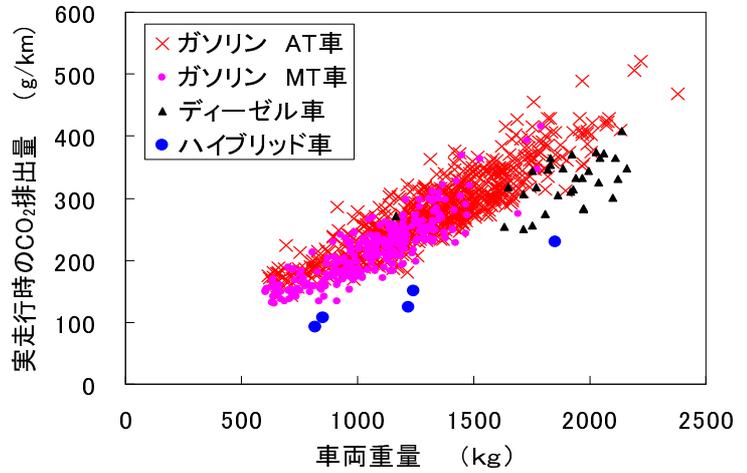


図1 ガソリン、ディーゼル、ハイブリッド車のCO₂排出量
(出典: e-燃費データをもとに作成 <http://response.jp/e-nenpi/>)

★燃費の良い車を選ぶ

同じ車両重量のガソリン車でも、ハイブリッド車はCO₂排出量が少ないことがわかります。また、エンジンを効率良く使うことができるCVT(無段変速機)を搭載した車も燃費の良い車です。

省エネ法による乗用車の燃費目標値は、図2の黒線で示すように、車両の重量に応じて段階的に決められています。

燃費基準を達成していても、重い車が増えると技術の進歩がCO₂削減に生かされないことになってしまいます。

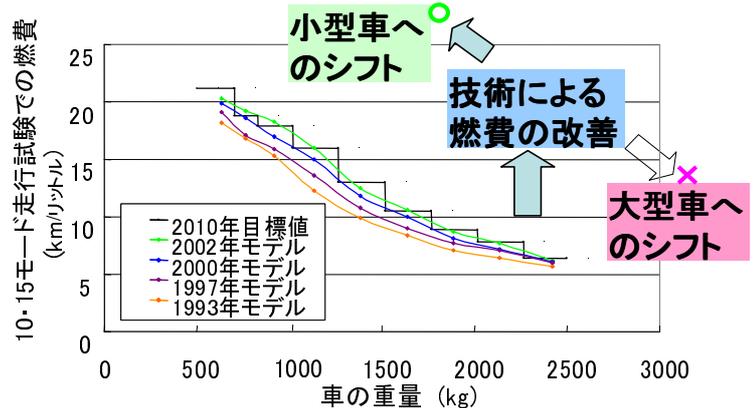


図2 乗用車の燃費目標値と10・15モード燃費の推移
(出典: 国土交通省データをもとに作成)

★日常の使用に適した車を選ぶ

図3は、1300ccと2000ccの乗用車、3000ccのワゴン車について、乗車人数ごとに一人当たりのCO₂排出量を示します。

大型のワゴン車は、①定員乗車(8人)の場合には、一人当たりのCO₂排出量が低くなりますが、②通勤など1人で乗車する場合には、1,300cc乗用車の1.5倍以上のCO₂を排出してしまいます。

環境負荷を減らすには、日常の使用に適した小さい車を選び、多人数での移動にはレンタカーを使用などの選択肢もあると考えられます。

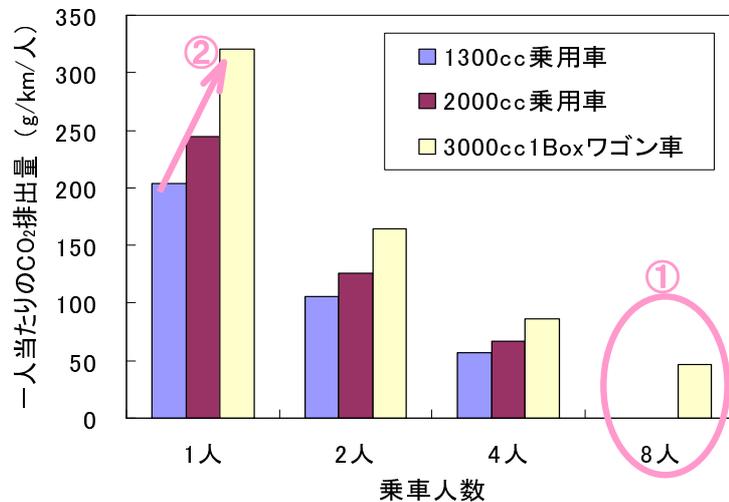


図3 乗車人数、車の大きさ別CO₂排出量
(出典: e-燃費データをもとに作成 <http://response.jp/e-nenpi/>)